

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成25年 6月20日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県越前市北府1丁目3-34

氏名 川研ファインケミカル株式会社 福井工場
工場長 高崎誠司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0778-24-0629

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|---------|------------------------|
| 事業場の名称 | 川研ファインケミカル株式会社 福井工場 |
| 事業場の所在地 | 福井県越前市北府1丁目3-34 |
| 計画期間 | 平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日 |

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | |
|---------------------|----------------------------|
| ①事業の種類 | E16 (化学工業) |
| ②事業の規模 | 3,366百万円 (製造品出荷額:平成24年度実績) |
| ③従業員数 | 64名 |
| ④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙①のとおり |

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境マネジメントシステム（EMS：ISO14001）で廃棄物管理手順書を作成して廃棄物の管理、マニフェストの管理、委託業者の選定などについて定めている。また、EMS会議において廃棄物の有償化状況についての取組・進捗確認を行っている。

EMS最高責任者：工場長

環境管理責任者：工場長が指名（管理職者）

廃棄物の統括責任者：環境安全グループリーダー

廃棄物の管理責任者：環境安全グループリーダーが指名（環境安全グループ員）など

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | | |
|-----|-----------------|---------|---|
| ①現状 | 【前年度（平成24年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙②のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙②のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|---|
| ①現状 | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物管理手順書に従って分類し、保管場所を定めている。 |
| ②計画 | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、廃溶剤の有償化の取り組みを継続して行う。 |

| 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|--------------------------|---|-------|-------|
| ①現状 | 【前年度（平成24年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | — — |
| | 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | 192 t | — — t |
| | （これまでに実施した取組） 廃アルコールの再利用を増やす取り組みを行ったが、目標（200t）には僅かに届かなかった。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | — — |
| | 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | 200 t | — — t |
| | （今後実施する予定の取組） 廃アルコール、廃溶剤を再利用する取り組みを継続して行う。 | | |
| 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — — | — — |
| | 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| | 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| （これまでに実施した取組） | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — — | — — |
| | 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| | 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| （今後実施する予定の取組） | | | |

(第4面)

| 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項 | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|---------|-------|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — — | — — |
| | 自ら埋立処分 を行なった 特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | — — | — — |
| | 自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量 | — — t | — — t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |
| 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（平成24年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙③のとおり | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |
| (これまでに実施した取組) | | | |

| | | | |
|---------------|---------------------------------------|---------|---|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙③のとおり | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処 理 委 託 量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処 理 委 託 量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処 理 委 託 量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量 | t | t |
| (今後実施する予定の取組) | | | |
| ※事務処理欄 | | | |

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙①

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | |
|----------------------------|---|
| <p>④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程</p> | <ul style="list-style-type: none">○引火性廃油 優良認定処理業者へ委託 再生利用業者へ委託(処理後は再利用) 処理業者(焼却)へ委託(処理後は埋立処分)○強酸 優良認定処理業者へ委託 再生利用業者へ委託(処理後は再利用) 処理業者(中和)へ委託(処理後は固化・造粒)○強アルカリ 再生利用業者へ委託(処理後は再利用) |
|----------------------------|---|

別紙②

特別管理廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | 【前年度（平成24年度）実績】 | | | |
|-----|--|-----------------|-------|-------|-------|
| ①現状 | 特別管理産業 廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 強酸 | 強アルカリ | 合計 |
| | 排 出 量 | 417 t | 113 t | 10 t | 540 t |
| | （これまでに実施した取組） ・ 廃アルコールを有償化する取り組みにより、引火性廃油の排出量は目標（440 t）以下に減少した。 ・ 副生品（強酸）販売が予想より進まなかったため、強酸の廃棄量が目標（70 t）より43t増加した。 | | | | |
| ②計画 | 特別管理産業 廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 強酸 | 強アルカリ | 合計 |
| | 排 出 量 | 400 t | 80 t | 0 t | 480 t |
| | （今後実施する予定の取組） ・ 廃溶剤、廃油の有償化の取り組みを継続して行う。 ・ 副生品（強酸）を製品として販売する取り組みも継続して行う。 | | | | |

別紙③

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

| 【前年度（平成24年度）実績】 | | | | | |
|--|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ①現状 | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 強酸 | 強アルカリ | 合計 |
| | 全処理委託量 | 225 t | 113 t | 10 t | 348 t |
| | 優良認定処理業者 | 79 t | 13 t | 0 t | 92 t |
| | 再生利用業者 | 69 t | 20 t | 10 t | 99 t |
| | 認定熱回収業者 | 0 t | 0 t | 0 t | 0 t |
| 認定熱回収業者以外 | 0 t | 0 t | 0 t | 0 t | |
| (これまでに実施した取組) ・副生品（強酸）の在庫量が増えたため強酸の廃棄量が目標（70 t）より43t増加した。 ・原材料化，燃料化して再利用している業者に優先的に処理を委託した。 | | | | | |
| 【目標】 | | | | | |
| ①計画 | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | 強酸 | 強アルカリ | 合計 |
| | 全処理委託量 | 200 t | 80 t | 0 t | 280 t |
| | 優良認定処理業者 | 80 t | 20 t | 0 t | 100 t |
| | 再生利用業者 | 80 t | 20 t | 0 t | 100 t |
| | 認定熱回収業者 | 0 t | 0 t | 0 t | 0 t |
| 認定熱回収業者以外 | 0 t | 0 t | 0 t | 0 t | |
| (今後実施する予定の取組) ・原材料化，燃料化して再利用している業者に優先的に処理を委託する取り組みを継続して行う。 ・業者の見学を定期的に行い、適正に処理されていることを確認する取り組みも継続して行う。 | | | | | |